

第45回

# ほや座くらぶ



日時

11月26日（土）9：30～11：30（受付9：20～）  
（初めて参加する方は9：10にお越しください）

場所

デイセンターすずかぜ（福井市文京2丁目16-9）  
またはZoomを利用したオンライン

対象

ミニ講座「公的年金制度について」  
社会保険労務士 本多良彦先生  
本人・家族交流会

内容

発症時64歳以下の  
若年性認知症の方とご家族

会場  
地図



問い合わせ

## 福井県若年性認知症相談窓口

住所：福井市文京2丁目9番1号  
（公益財団法人松原病院内）  
電話：0776-63-5488（平日9：00～17：30）  
メール：hoyaza@fmatsubara.com

申し込み制となっております。  
参加希望の方は電話かメールでご連絡をお願いします。  
オンライン参加を希望する方はその旨お伝えください。

申込期限：令和4年11月18日（金）

～感染予防のお願い～

- ・会場での検温、アルコール消毒、マスク着用にご協力をお願いします。
- ・発熱や咳、だるさなどの体調不良がある方は会場への参加を控えてください。
- ・7日以内に県外の行き来がある方、その方との接触がある方はオンラインでの参加をお願いします。

## 第44回ほや座くらぶを開催しました

9月17日(土)に、今年度3回目の若年性認知症の人と家族の会「ほや座くらぶ」を開催しました。ご本人1名、ご家族8名、スタッフ8名が参加しました。

ご家族は前半、福井県長寿福祉課、岡本奈美先生による「認知症本人大使『希望大使』について」のミニ講座を行いました。

「希望大使」とは、認知症になっても希望を持ち、自分らしく、前を向いて暮らしている姿を全国に発信することを通じて、認知症に関する普及啓発を行う方たちです。

ミニ講座を聞いたご家族からは、「日中何もすることがなくて、ネガティブな日々を送るくらいなら、『希望大使』という役割を与える事で、1歩立ち上がることができるのではないか。」「家族のサポートも必要になるけど、家族も仕事等、やる必要があるから、どこまでサポートできるかが心配。」等の意見がありました。

「希望大使」がいることで、認知症になっても自分らしい人生を生きて行こうと思う人が、より一層増えていくのではないかと思います。



後半は、2つのグループに分かれて交流会を行いました。

「家族が認知症と診断されて、最初はどのようにいいか分からなかった。病院で家族会等の社会資源を勧めてくれたら、本人と家族の負担が減ると思う。」など、自身の経験や思いを話されていました。

初めて参加された方も、最初は他のご家族のお話を聞いておられましたが、交流会の後半にはご自身のことを少しずつお話しされ、他のご家族が共感したり、同じ経験を話す場面もありました。

ご本人は、スタッフと共に一乗滝まで外出しました。ドライブ中は、車の窓を開け、秋の季節ならではの風景や匂いを感じることができました。一乗滝の風景を見ながら、スタッフとの会話に笑顔も見られ、とてもリラックスした様子で楽しんでいました。

初めて参加されたので、ご家族は少し心配されていましたが、すずかぜに戻って楽しそうなご本人の様子を見て、ご家族も喜ばれていました。

ほや座くらぶではご本人がやりたいこと、楽しめることなどを一緒に探して、実現できるようにサポートしたいと思います。

## 若年性認知症相談窓口ホームページ

若年性認知症に関する情報を発信しています。  
ほや座くらぶの案内や開催の様子も掲載しています。

QRコードまたは  
URLからご覧ください



<https://www.j-monowasure.com>